



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年2月10日

上場会社名 横浜魚類株式会社

上場取引所 東

コード番号 7443 URL <http://www.yokohamagyorui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 英俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 塚本 秋宏

TEL 045-459-3800

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	15,415	1.4	171	2.1	194	4.8	143	4.2
2024年3月期第3四半期	15,631	4.3	167	63.4	185	53.7	149	54.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	22.86	
2024年3月期第3四半期	23.86	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,063	2,505	35.5
2024年3月期	5,586	2,355	42.2

(参考)自己資本 2025年3月期第3四半期 2,505百万円 2024年3月期 2,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		3.00	3.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,400	3.5	120	25.8	140	22.5	100	38.5	15.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	6,290,000 株	2024年3月期	6,290,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	32,649 株	2024年3月期	32,649 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	6,257,351 株	2024年3月期3Q	6,257,351 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(表示方法の変更)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増大などにより、景気は緩やかな回復基調となりました。その一方で海外経済の下振れリスクや紛争による物価の上昇など先行き不透明な状況が続いております。

水産物流通業界におきましては、漁獲不振や円安などによる魚価の値上りや人件費、物流費などの増加によるコスト増が生じております。

この様な状況におきまして、当社は市場の特色である高鮮度商品を積極的に販売いたしましたが販売数量の減少により、売上高は15,415百万円（前年同期比1.4%減）となり減収となりました。

損益につきましては、売上総利益率の改善により、物流費や人件費などの経費増を吸収し、営業利益171百万円（前年同期比2.1%増）、経常利益194百万円（前年同期比4.8%増）と増益となりました。

最終損益につきましては、税負担の増加により143百万円（前年同期比4.2%減）と減益となりました。

なお、不動産等賃貸損益につきましては、従来「受取賃貸料」として「営業外収益」に、「賃貸費用」として「営業外費用」に計上しておりましたが、第1四半期会計期間よりそれぞれ、「売上高」、「売上原価」に含めて計上する方法に変更しております。この表示方法の変更の内容を反映させた組替え後の数値で前第3四半期累計期間との比較・分析を行っております。

セグメント別の業績は次の通りであります。

当社は従来「水産物卸売業」のみの単一セグメントでありましたが、第1四半期会計期間より「水産物卸売業」「不動産等賃貸業」の二つの報告セグメントに変更いたしました。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較・分析を行っております。

(水産物卸売業)

売上高は横浜南部市場内の食品加工施設の稼働拡大による売上の増加はありましたが、量販店の店舗統廃合などによる売上の減少などがあり、15,281百万円（前年同期比1.4%減）と減収となりました。営業利益は利益率の改善などにより、177百万円（前年同期比15.0%増）と増益となりました。

(不動産等賃貸業)

売上高は133百万円（前年同期比0.1%減）と前年並となりました。営業利益は修繕費の減少などにより24百万円（前年同期比8.7%増）と増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金が142百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が1,235百万円増加、並びに商品が383百万円増加したことなどにより、前期末比1,477百万円増加し7,063百万円となりました。

②負債

当第3四半期会計期間末における負債総額は、長期借入金が113百万円減少しましたが、買掛金が1,513百万円増加したことなどにより、前期末比1,327百万円増加し4,558百万円となりました。

③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産額は、主として利益剰余金が124百万円増加したことにより、前期末比149百万円増加し2,505百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年11月8日の業績予想の修正に関するお知らせに開示しました業績予想を変更していません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	942,935	800,175
受取手形及び売掛金	2,220,971	3,456,820
商品	511,295	895,203
前払費用	6,203	9,571
その他	11,442	41,828
貸倒引当金	△263,345	△296,200
流動資産合計	3,429,503	4,907,399
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,103,145	1,027,669
その他（純額）	366,732	417,681
有形固定資産合計	1,469,877	1,445,351
無形固定資産		
	3,040	3,874
投資その他の資産		
投資有価証券	547,404	584,009
関係会社株式	62,325	62,325
破産更生債権等	212,796	141,725
その他	62,590	59,124
貸倒引当金	△200,922	△140,010
投資その他の資産合計	684,195	707,175
固定資産合計	2,157,113	2,156,401
資産合計	5,586,616	7,063,801

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	142,706	172,468
買掛金	1,455,436	2,969,207
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	166,300	159,600
未払法人税等	32,449	36,265
賞与引当金	20,562	500
役員賞与引当金	6,000	—
その他	312,282	214,403
流動負債合計	2,235,738	3,652,445
固定負債		
長期借入金	401,000	288,000
退職給付引当金	315,531	316,908
役員退職慰労引当金	8,250	5,625
資産除去債務	64,381	64,623
長期預り保証金	158,927	158,427
繰延税金負債	46,357	72,201
その他	481	357
固定負債合計	994,929	906,143
負債合計	3,230,667	4,558,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,100	829,100
資本剰余金	648,925	648,925
利益剰余金	659,237	783,507
自己株式	△12,653	△12,653
株主資本合計	2,124,609	2,248,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	231,339	256,334
評価・換算差額等合計	231,339	256,334
純資産合計	2,355,948	2,505,213
負債純資産合計	5,586,616	7,063,801

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	15,631,128	15,415,819
売上原価	14,272,120	14,021,459
売上総利益	1,359,008	1,394,359
販売費及び一般管理費	1,191,428	1,223,318
営業利益	167,580	171,040
営業外収益		
受取利息	137	352
受取配当金	20,473	21,472
雑収入	499	4,716
営業外収益合計	21,110	26,541
営業外費用		
支払利息	2,903	2,804
雑損失	59	113
営業外費用合計	2,963	2,918
経常利益	185,727	194,663
特別利益		
保険差益	649	—
特別利益合計	649	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産圧縮損	649	—
特別損失合計	650	0
税引前四半期純利益	185,727	194,663
法人税、住民税及び事業税	36,442	37,305
法人税等調整額	—	14,316
法人税等合計	36,442	51,621
四半期純利益	149,284	143,042

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

当社は、不動産等賃貸損益につきましては、従来「受取賃貸料」として「営業外収益」に、「賃貸費用」として「営業外費用」に計上しておりましたが、第1四半期会計期間よりそれぞれ、「売上高」、「売上原価」に含めて計上する方法に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書は新たな表示方法に従い記載をしております。

この変更は、当社の不動産等賃貸業が規模の拡大により同事業の重要性が高まったことにより行うものであります。

この変更により、前第3四半期累計期間において、営業外収益に計上されていた受取賃貸料134,120千円は売上高に計上され、営業外費用に計上されていた賃貸経費111,784千円は売上原価に計上されますので、売上高は134,120千円増加(営業外収益は同額減少)、売上原価は111,784千円増加(営業外費用は同額減少)、営業利益は22,336千円増加しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	91,363千円	108,601千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,497,008	134,120	15,631,128	—	15,631,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,497,008	134,120	15,631,128	—	15,631,128
セグメント利益	154,195	22,336	176,531	△8,951	167,580

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,951千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,281,822	133,996	15,415,819	—	15,415,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,281,822	133,996	15,415,819	—	15,415,819
セグメント利益	177,333	24,288	201,622	△30,581	171,040

(注) 1. セグメント利益の調整額△30,581千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社はこれまで水産物卸売業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりましたが、当社の不動産等賃貸業が規模の拡大により同事業の重要性が高まったことにより、第1四半期会計期間から「水産物卸売業」及び「不動産等賃貸業」を報告セグメントとして、セグメント情報を開示いたします。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。